

銚子ジオパーク市民の会ニュース



第 98 号
2019年7月25日 発行
発行責任者 工藤 忠男
編集責任者 藤身 隆雄
TEL 0479 24 2225
<http://choshi-geopark.com/>



屏風ヶ浦 (銚子市)

「銚子ジオパークの森」協定締結 工藤 忠男

7月3日に「銚子ジオパークの森」協定締結式が市役所3階の庁議室で行われました。林野庁から千葉県森林監督事務所長の前田氏他3名、銚子ジオパーク推進協議会からは会長の越川銚子市長他9名、市民の会から5名参加しました。

これは、国民参加の森林づくりとして林野庁が進めているもので「国有林で、植樹、下草刈り、歩道の整備などの森林づくり活動や体験活動」を行っていくものです。

ここは、ジオパークで毎年「親子で夏の自由研究ツアー」で利用しているところでもあります。この素敵な君ヶ浜の森をもっと利用できるのです。銚子の魅力も一段と増すことでしょう。

この「銚子ジオパークの森」は、銚子ジオパークの新しいジオサイトにな



銚子ジオパーク講座 安藤 清

ジオパーク講座は6月15日から7月6日まで全8回が開かれました。私事ですが、申し込んだものの修了できなかった昨年度の忸怩たる思いから、今年は覚悟を持って取り組んだつもりです。ジオパークを知れば知るほどそれが包含する世界の広大さに圧倒されている自分にとってはある種の覚悟を持つ必要があったわけですね。

さて、講座の内容は多岐にわたりましたが、それらは大地、自然、人の暮らし、そしてジオパーク自体と4分類されています。ジオパークが対象とする広範なテーマの整理です。また講師が大学や博物館の研究者とともにJIAや企業から招かれていたことは、学術研究と人々の生活をつなぐジオパークの特徴として

理解しましたし、各講座内容のわかりやすさやアクティビティを組み込んだ展開等も、すべての人々のためのジオパークという性格を表していると思います。自分には、化石や産気楼のこと、岩石標本づくりなどは今更

く、とても新鮮で興味深く受講しました。ジオパークはこうした個々のテーマを結びつけてストーリーをつくること

とが重要だとされますが、今回の特別企画である山下琢己先生の講演会では、そのヒントをいただいたようにも思います。学ぶことの楽しさをあらためて感じる講座でした。

海岸清掃と現地見学会 犬吠埼



7月の第3日曜日、恒例の海岸清掃が、21日9時から行われました。当日は梅雨明け宣言のない曇天で蒸し暑さがあるものの真夏の日差しはなく、7月下旬にしては海岸清掃日和となりました。参加団体は銚子ジオパーク市民の会とナルク銚子、他です。中高年者に混じって若い方やお子さんの参加があり、総勢60人余の方々

in 九十九里・外房のビーチ☆クリーン☆キャンペーンの一環として行われました。これはオリピックのサーフィン会場が千葉県一宮町の釣ヶ崎海岸に決まったことによります。犬吠埼南側の遊歩道周辺は比較的きれいで、ごみも少なめでした。君ヶ浜側は一見してきれいでしたが広いエリアであることもあり、一時間後には君ヶ浜海岸の海女小屋横の集積場は集められたごみ袋で山となりました。最後にゴミの山と灯台をバックにプロジェクトの横断幕を前に記念撮影をして終了となりました。

今回は東京オリピック2020の関連プロジェクトである「おもてなしCHIBAプロジェクト

10時から12時までは、恒例の銚子ジオパーク市民の会主催の犬吠埼周辺の無料ガイドが行われました。ご案内したお客様は東京、横浜、地元の方など15人を超えました。

8月のおしらせ

定例の第3日曜日 清掃 お休み
偶数月の第1日曜日 清掃 お休み

代わりに

8/18日曜日 9時
屏風ヶ浦 清掃です

